

あん
(案)

わかりやすい

し しょうがいしゃ
つくば市障害者プラン

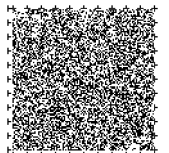
かいていばん

改定版

れいわ ねん (2024年) 3月

ページの下に「音声コード (ユニボイス)」があります。スマートフォンのアプリなどを使って音声で内容を聞くことができます。

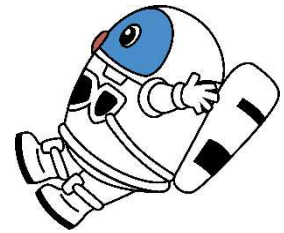
これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs



1 あたらしい^{けいかく}計画をつくりました

この^{けいかく}計画は、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しょうがい}障害のある^こ子どもが、つくば^し市で^{じぶん}自分らしく^{あんしん}安心して^{せいかつ}生活できるようにすることをめ^め目指してつくりました。

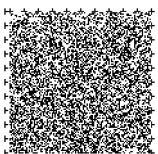
この^{けいかく}計画をつくるために、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しょうがい}障害のある^こ子どもが、^{いま}今どのように^{せいかつ}生活しているのか、^{こま}困っていること、^{きぼう}希望していることを^{しら}調べて、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しせつ}施設の人などで、^{かんが}みんなでいっしょに考えました。



2 ^{けいかく}計画の^{かんが}考え方^{かた}

この^{けいかく}計画の^{かんが}考え方は次の通りです。

^{しょうがい}障害のある^{ひと}人もない^{ひと}人も、^{みんな}みんながいっしょに^{あんしん}安心して^{じぶん}自分らしく^{せいかつ}生活できる^{しゃかい}社会をめざす



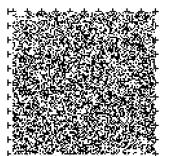
基本目標 1 みんながいっしょに生活するまちをつくる

障害のある人もない人もおたがいを思いやりながら、市民がみんなでささえあい、いきいきと安心して暮らすことのできるまちをつくりまします。



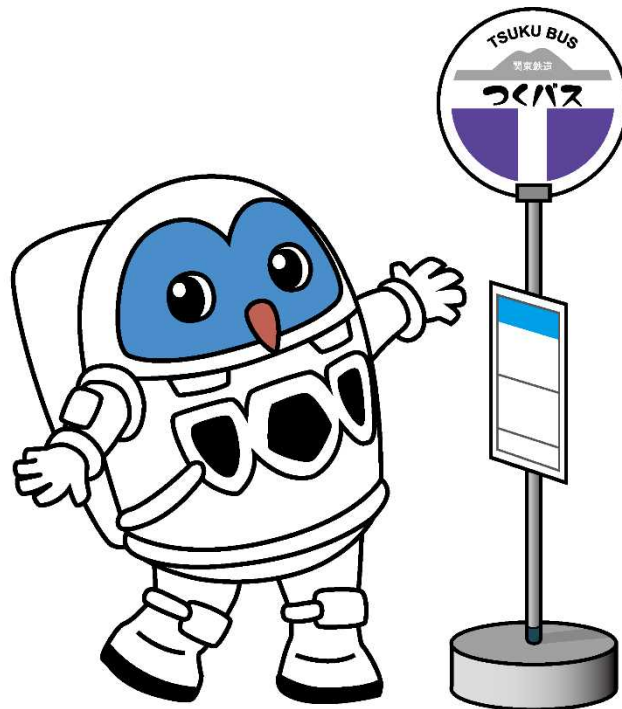
とく 取り組むこと

- ・「障害」や「障害のある人」について、みんなに知ってもらったり、考えてもらったりするためのイベントを開いたり、お知らせをしたりします。
- ・だれもがかたんに情報を集めることができるようにします。
- ・障害のある人もない人も、同じ場所で学ぶことができるようなまちをめざします。
- ・ボランティアに参加する人をふやします。また、障害のある人が参加できるボランティアを広げていきます。



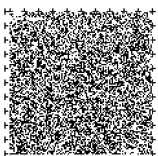
基本目標 2 みんなが生活しやすいまちをつくる

障害のある人やお年寄りの立場に立って、住まいやまちのなかで困ることや大変なことをなくし、生活しやすいまちをつくれます。



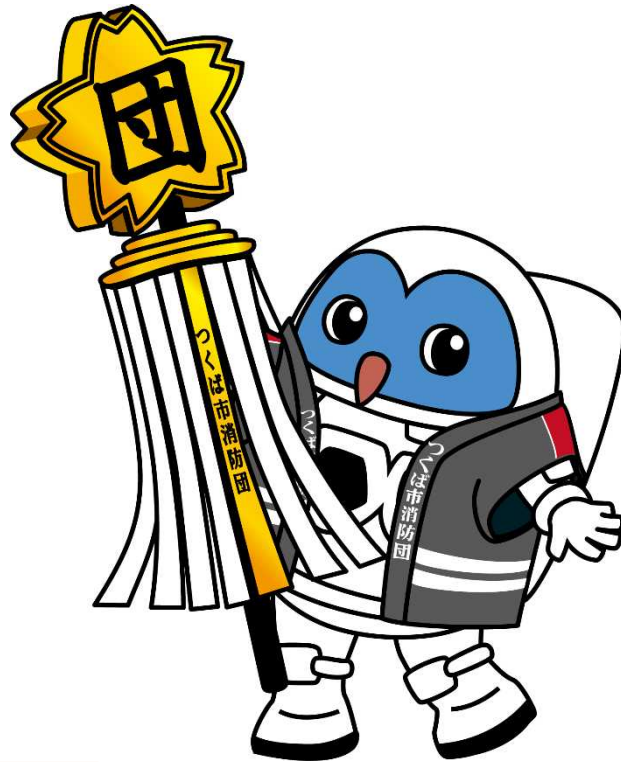
とく組むこと

- ・ 住みやすい家の情報をだれもがかんたんに調べられるようにします。
- ・ 障害のある人もない人も行きたいところに行けるようにするために、建物の中や道路の段差を少なくしたり、障害のある人も乗ることができるバスやタクシーを増やしたりします。



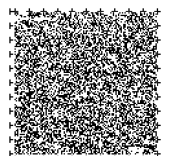
基本目標 3 安全・安心に暮らせるまちをつくる

さいがい じしん たいふう 災害(地震・台風など) や はんざい しょうがい 障害のある人を守り、安全
 あんしん ぐ で安心した暮らしができるようにします。



とく 取り組むこと

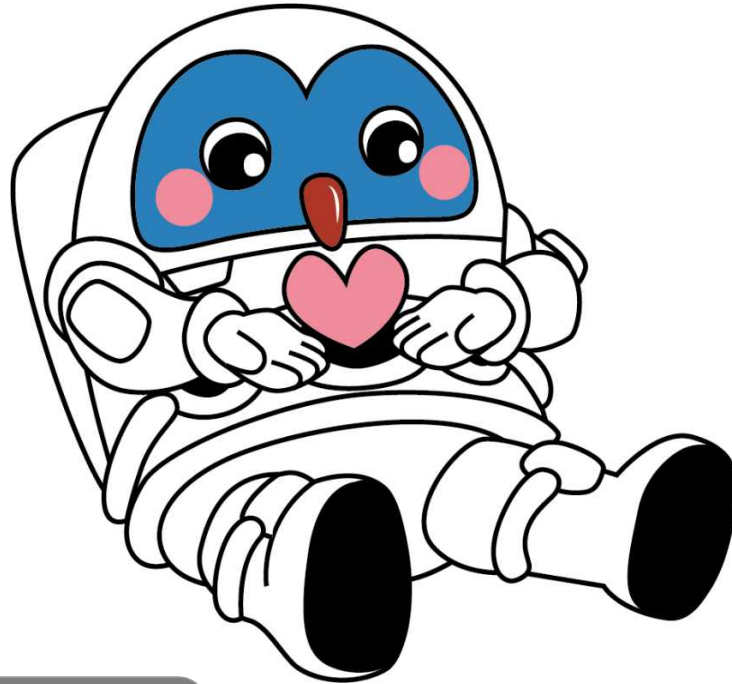
- じしん たいふう 地震や台風がおきたときに、どうすればいいのかがわかるような、「ぼうさい ぼうさい 防災ガイドブック」をひろ 広めたり、ひなんくんれんをしたりします。
- ものをとられたり、いらぬものを買わされたりしないように、き 気をつけることをひろ 広めていきます。



基本目標 4 障害のある人の権利を守る

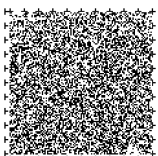
障害のある人が差別を受けたり、いやな思いをしないように、

障害のある人の権利を守る取り組みをします。



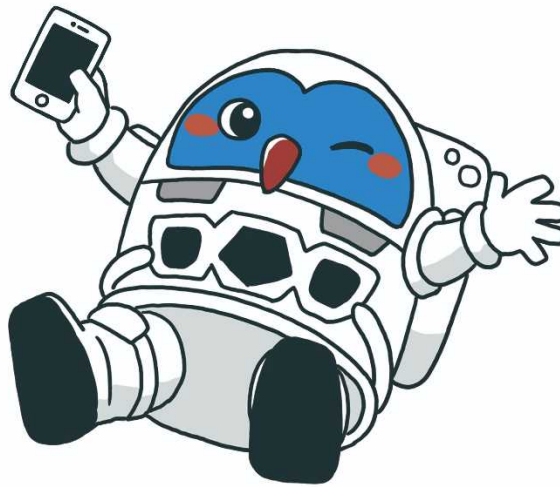
とく 取り組みこと

- ・自分で決めることや手続をすることがむずかしい人のために、相談に乗り、手続をしてくれる人を見つけます。また、このように助けてくれる人がいるということを、広めていきます。
- ・「差別や虐待をしてはいけない」という決まりがあることを広めていきます。また、差別を受けたり、深く傷つけられたときに相談できるしくみをつくり、相談できる場所があることを広めていきます。



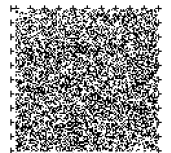
基本目標 5 障害のある人が地域で生活するためのしくみをつくる

障害のある人が、自分らしくいきいきと生活できるよう、
日常生活を助けるサービスを用意します。



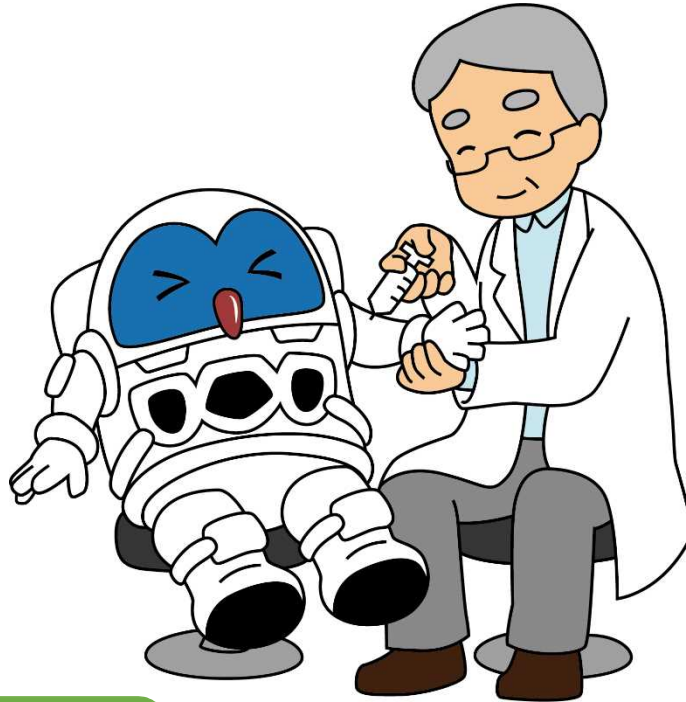
とく 取り組むこと

- 市役所・病院・学校などが協力して、障害のある人が生活していくうえで必要なことを考えて、その人に合った手助けをします。
- 生活の助けになるサービスを、必要な時に使うことができるようにします。
- 困ったことがあったときに相談できるしくみをつくります。また、相談できる場所がどこにあるのかをわかりやすくまとめ、その情報を広めていきます。



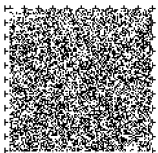
基本目標 6 保健・医療のしくみを整える

病気や障害が重くなるのを防いだり、病気や障害があっても、健康に暮らすことができるようなしくみを作ります。



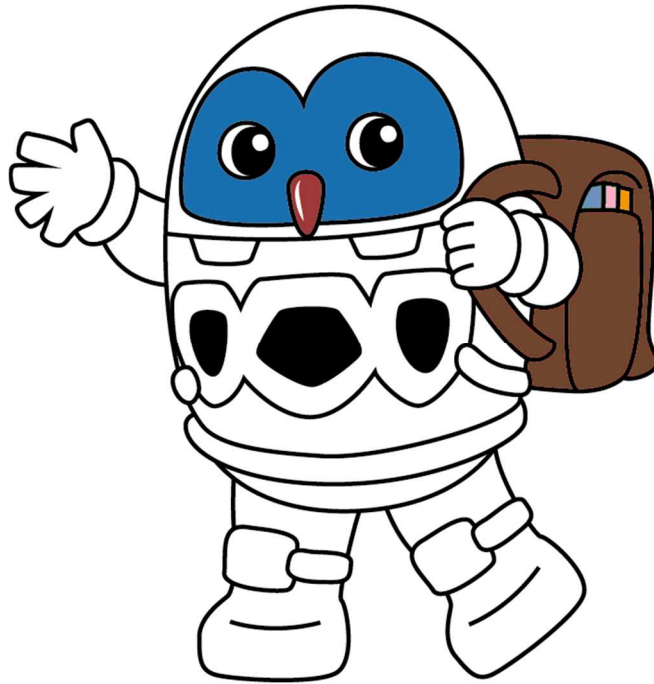
とく 取り組むこと

- ・子どもの成長の様子を決まった時期に確認して、必要な手助けをしていきます。
- ・障害のある人や、成長に不安がある子どもが過ごすことができる場所を用意します。
- ・障害が原因で入院している人が、退院したあとに地域で生活できるよう、必要な手助けをしていきます。



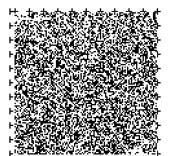
基本目標 7 教育・療育の場を整える

学校や、子どもの発達を支える場を用意して、子どもの健やかな成長と、その保護者・家庭を支えます。



と取り組むこと

- それぞれの子どもに合わせた手助けができるよう、専門の人たちと保護者が相談できる場を用意します。
- 子どもや先生を手助けする人を用意し、子どもが学校で困らないように、また、困ったときにすぐに相談できるようにします。
- 子どもが健やかに成長できるよう、学校の先生や施設の先生もさらに勉強していきます。



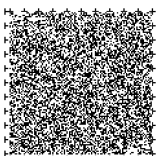
基本目標 8 はたら 働くための てだす 手助けをする

しょうがい しょうがい ひと ひと はたら はたら じぶん じぶん あ あ しごと しごと てだす てだす
 障害のある人が、自分に合った仕事ができるように手助けします。



と ぐ 取り組むこと

- しごと しごと べんきょう べんきょう れんしゅう れんしゅう ようい ようい
 ・ 仕事をするための勉強や練習ができるサービスを用意します。
- しょうがい しょうがい ひと ひと はたら はたら ぶん ぶん
 ・ 障害のある人が働くことができるところを増やします。
- しょうがい しょうがい ひと ひと はたら はたら めんせつかい めんせつかい おこな おこな
 ・ 障害のある人が働くための面接会を行います。



基本目標 9

ぶん かげい じゅつ

文化芸術・スポーツなどの活動に

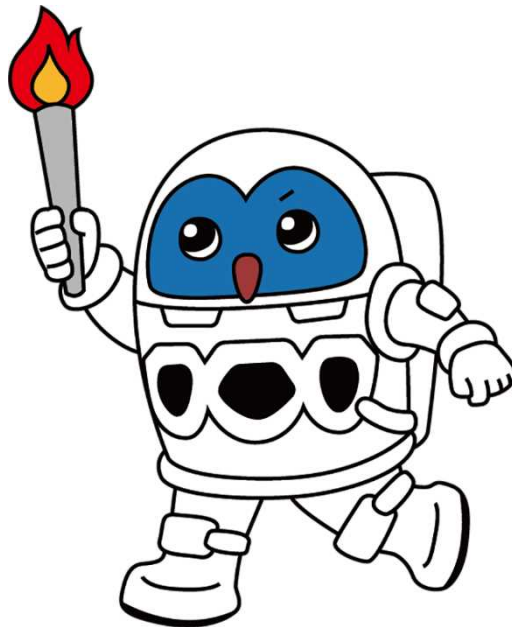
かつどう

さんか

参加できるように手助けをする

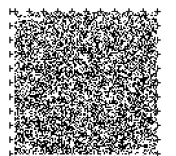
てだす

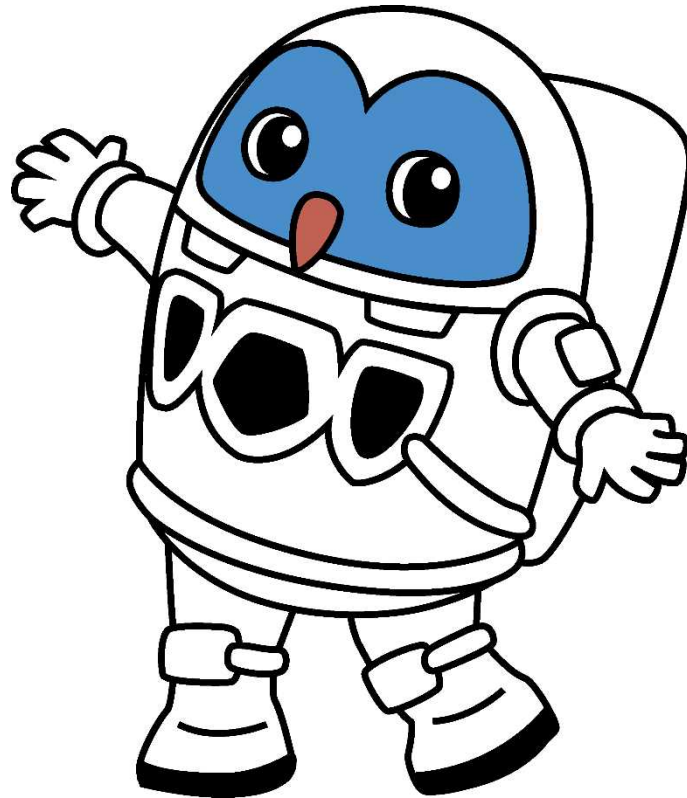
しょうがい ひと ゆた せいかつ おく ぶんか
 障害のある人が豊かな生活を送ることができるように、文化
 げいじゅつ
 芸術・スポーツなど、それぞれが好きなことに取り組めるよう
 かんきょう ようい
 な環境を用意します。



と くり ぐ む こ と
 取り組むこと

- しょうがい ひと つく さくひん てんじ げき はっぴょうかい ひら
 ・ 障害のある人が作った作品の展示や、劇などの発表会を開きます。
- しょうがい ひと ひと と ぐ
 ・ 障害のある人もない人も、いっしょに取り組むことができるイベントを開きます。





つくば市 福祉部 障害福祉課
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
電話 029-883-1111 (代表)
FAX 029-868-7544

